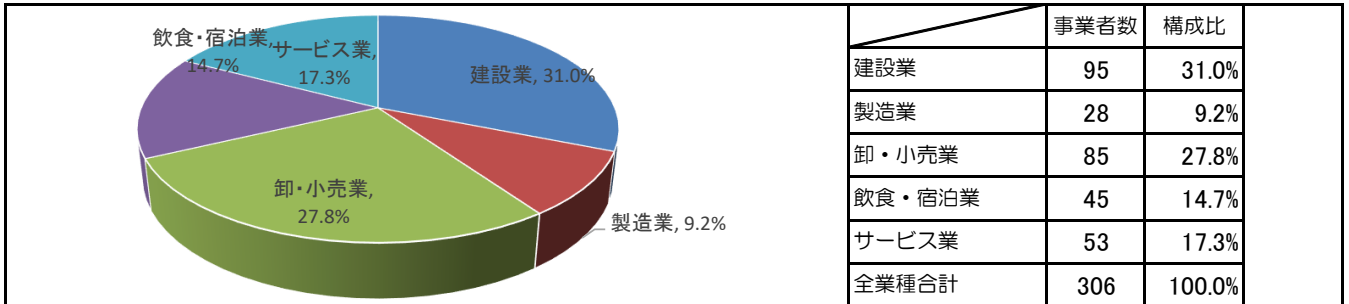


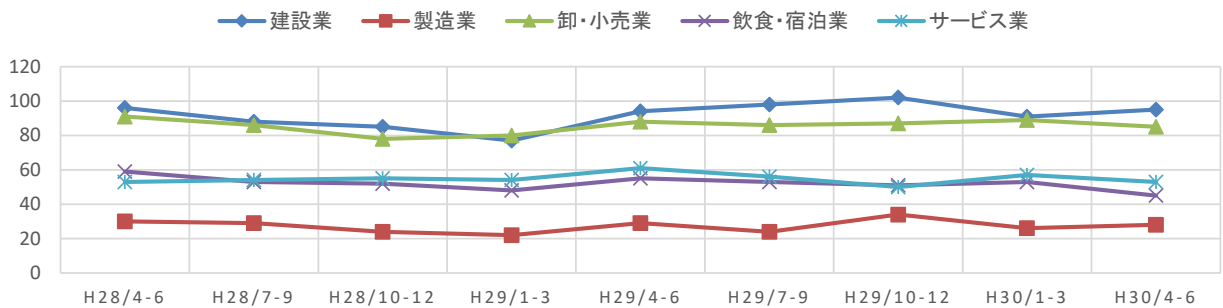
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>

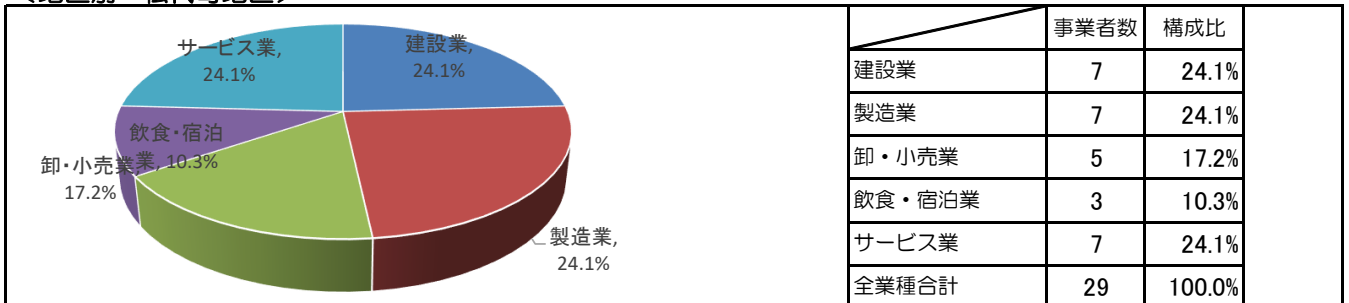


業種別調査事業所数の推移（市内全体）

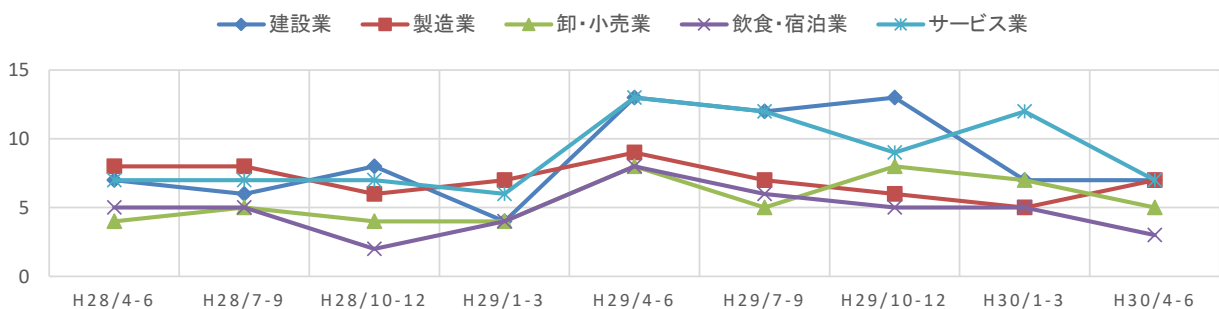


<コメント> 十日町市内の商工会地域全体の商工業者（約1,000社）の約3割の事業者から回答をいただいている。調査開始からの推移でも特段大きな変動はなく、製造業の割合が低いものの業種別に大きな偏りは無い。

<地区別：松代町地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



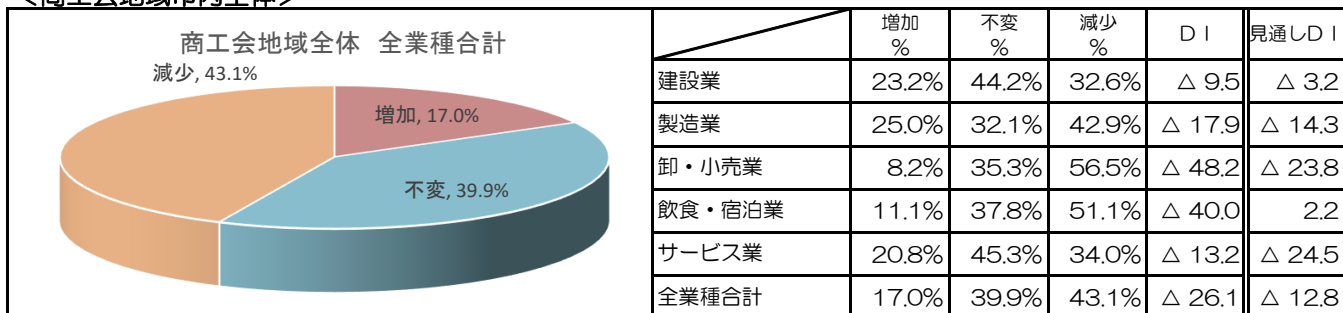
<コメント> 当松代地域においては、商工会地域全体の商工業者（約120社）の約2.5割の事業者から回答をいただいている。調査開始からの推移でも特段大きな変動はなく、飲食・宿泊業の割合が低いものの業種別には地区内平均的な回答結果である。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

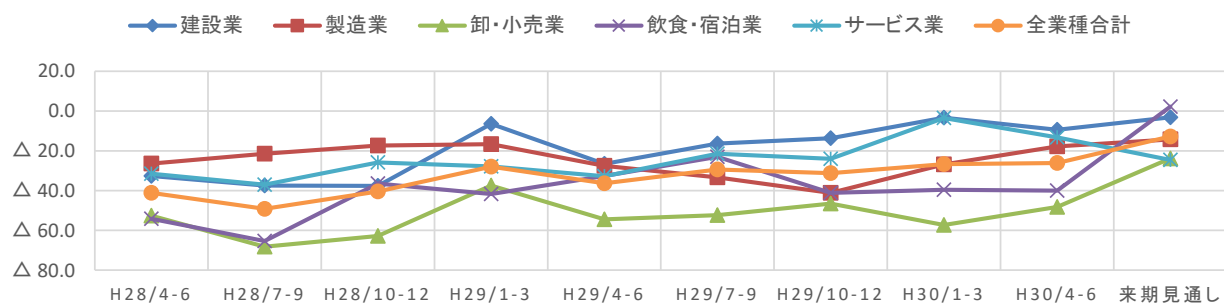
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

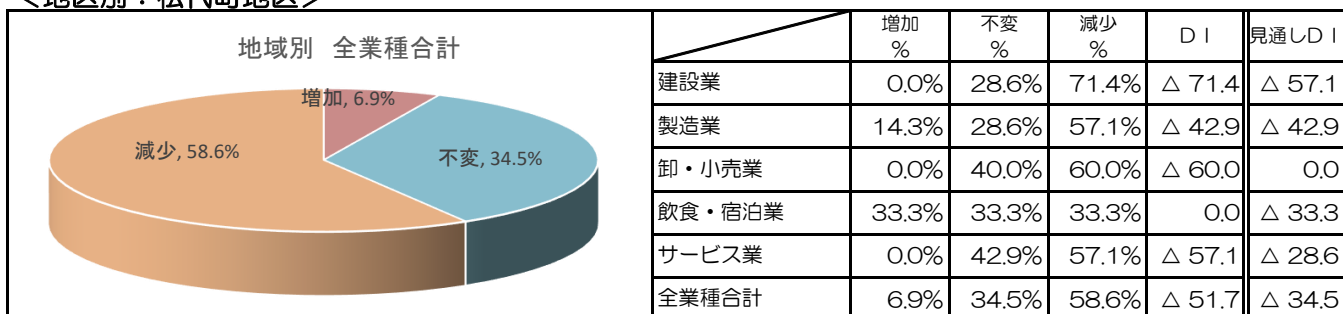


業種別売上の推移（市内全体）

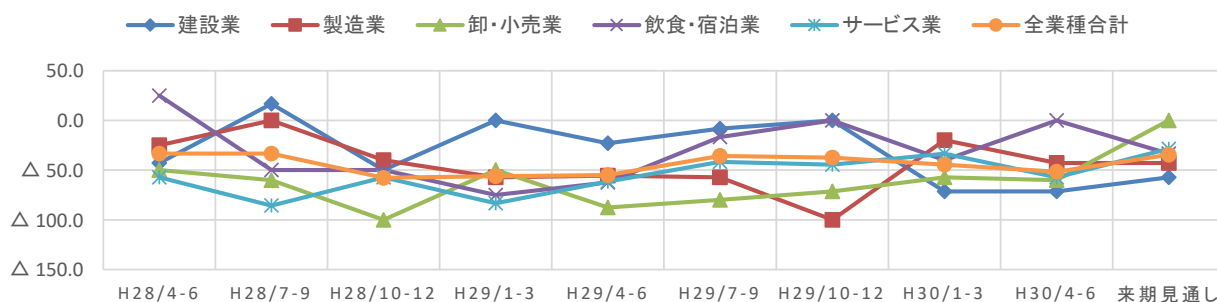


<コメント> 市内全体の売上状況であるが、全業種でのD I 値で見ると、前期（△26.7ポイント）に比べ0.6ポイント改善した結果となっている。業種別の前期比は、建設業、サービス業で減少したが、卸・小売業、製造業が増加となった。来期の見通しは、サービス業が減少予測しているものの、その他の業種では増加予測されており、飲食・宿泊業はプラス域まで増加予測している。

<地区別：松代町地区>



業種別売上の推移（地区別）

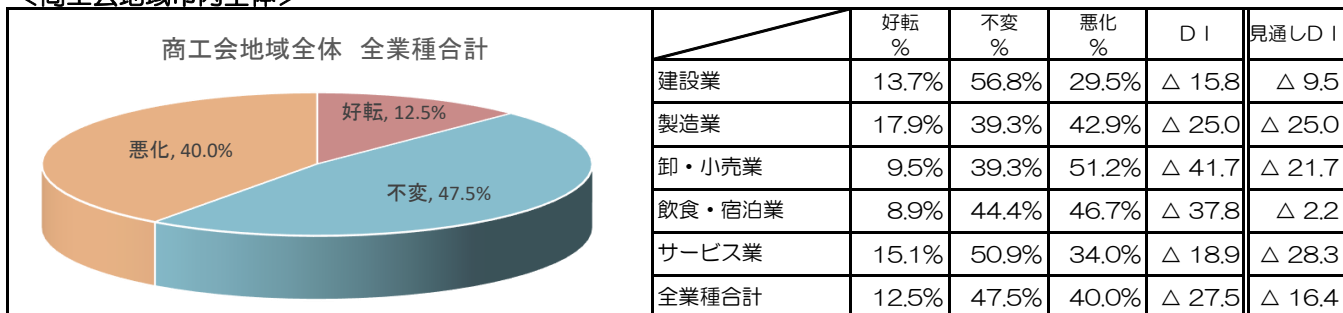


<コメント> 当松代地域において、売上状況であるが、全業種でのD I 値で見ると、前期（△44.4ポイント）に比べ7.3ポイント悪化した結果となっている。業種別の前期比は、飲食・宿泊業で改善したが、その他の業種では減少傾向である。来期の見通しは、全体では減少傾向を予測しているものの、製造業、卸・小売業では改善を予測している。

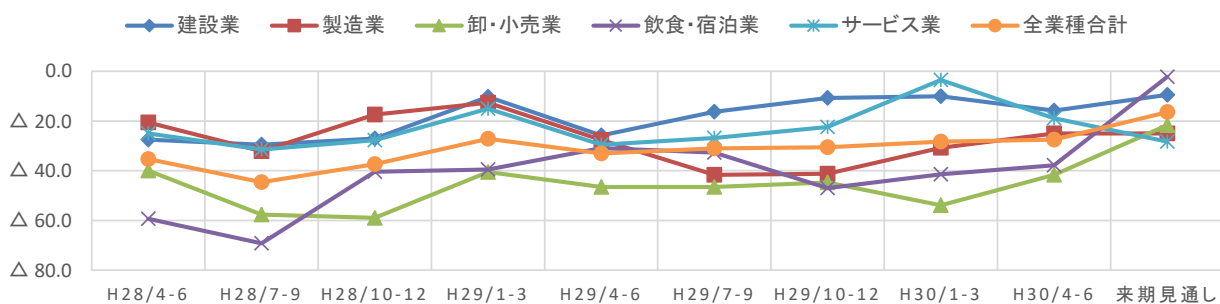
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

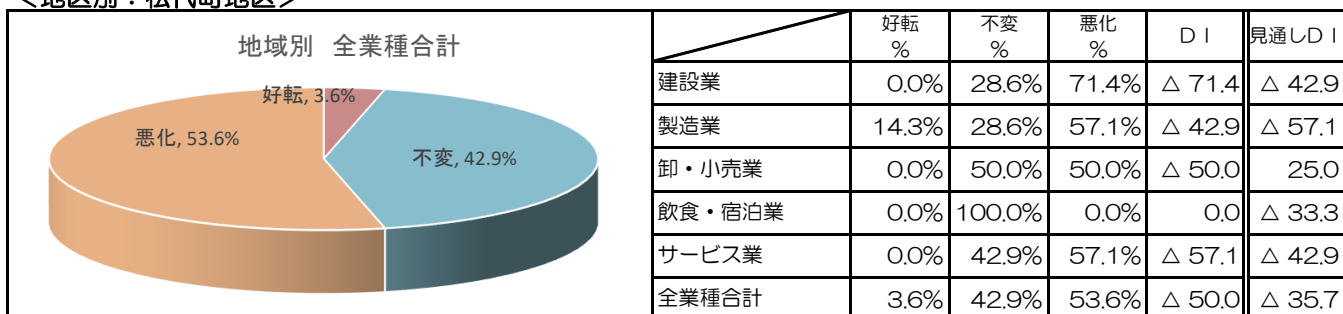


業種別採算の推移(市内全体)

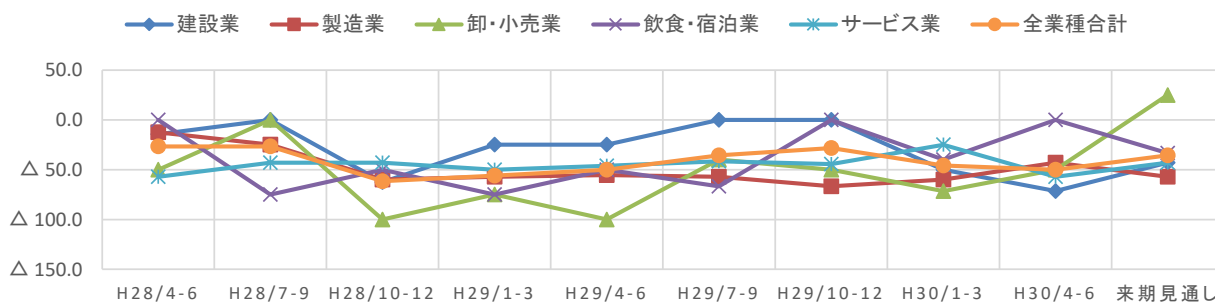


<コメント> 全体の採算は、全業種のD I値で前期(△28.3ポイント)に比べ0.8ポイント改善となった。売上状況と同様、建設業、サービス業で悪化となっているが、その他の業種は好転している。来期の見通しにおいてもサービス業以外の業種が大幅な改善予測されており、全業種で今期よりも11.1ポイント好転予測されている。

<地区別：松代町地区>



業種別採算の推移(地区別)

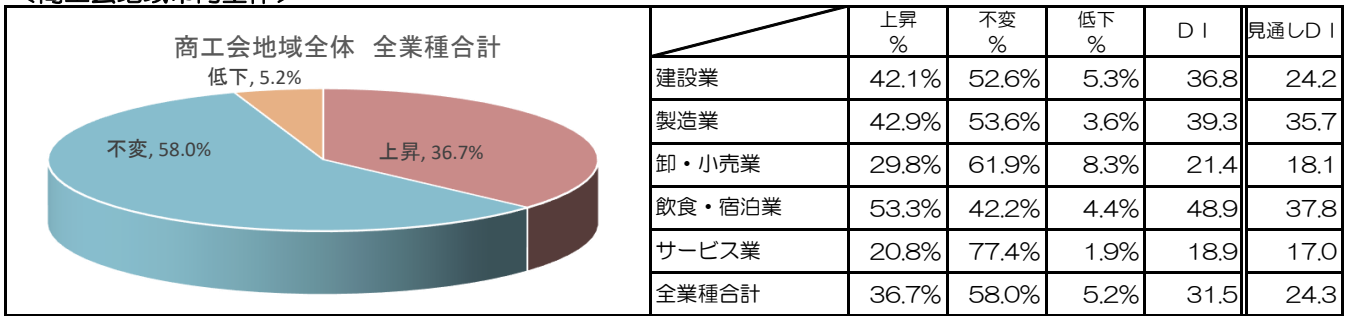


<コメント> 当松代地域の採算は、全業種のD I値で前期(△45.7ポイント)に比べ4.3ポイント悪化となった。売上状況と同様、建設業で悪化となっているが、その他の業種は好転している。来期の見通しにおいても飲食・宿泊業、サービス業以外の業種が微細な改善予測されており、全業種で今期よりも1.4ポイント好転予測されている。

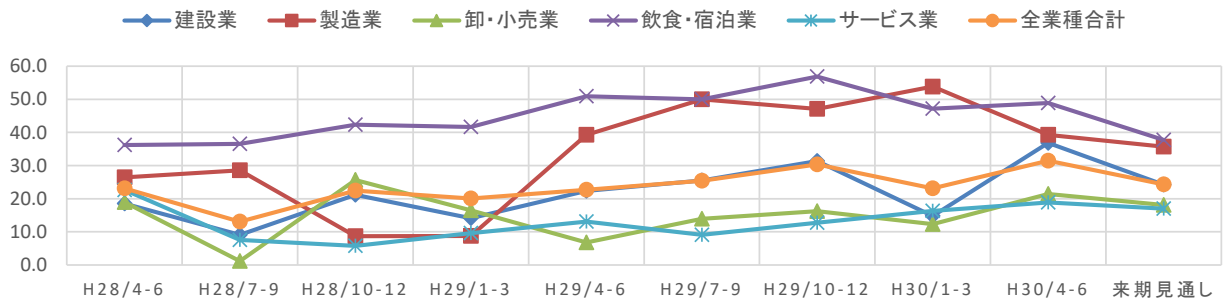
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

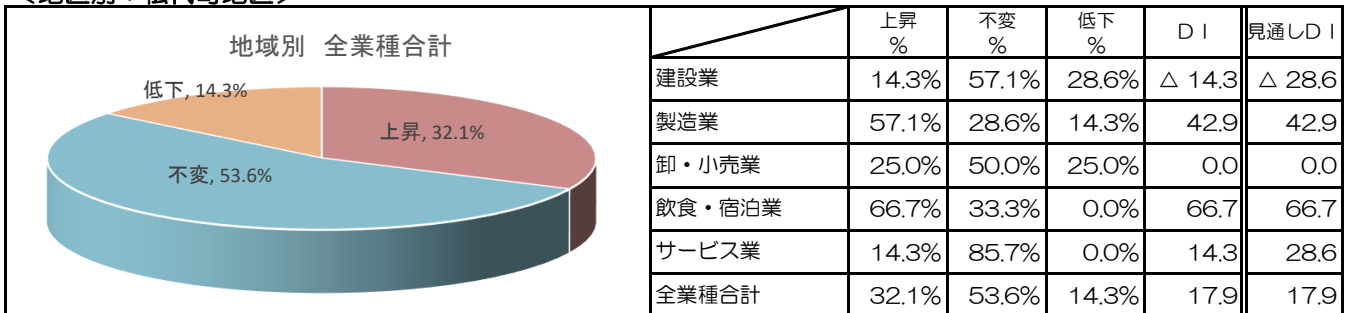


業種別仕入単価の推移(市内全体)

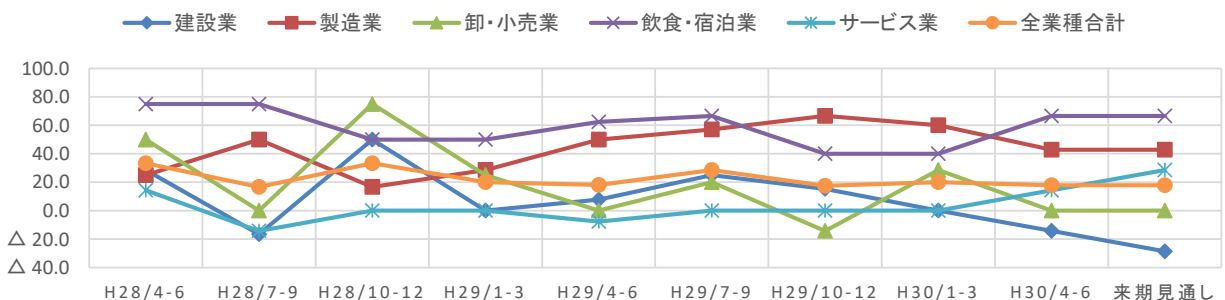


<コメント> 市内全体の仕入単価であるが、製造業以外の業種で上昇を示しており、前期比で8.3ポイント上昇となった。特に建設業では、前期よりも29.1ポイント上昇となっており、燃料価格の高騰が大きく影響しているものと推測できる。来期の見通しにおいては全ての業種で低下予測されており、今後は落ち着くものと予想される。

<地区別：松代町地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

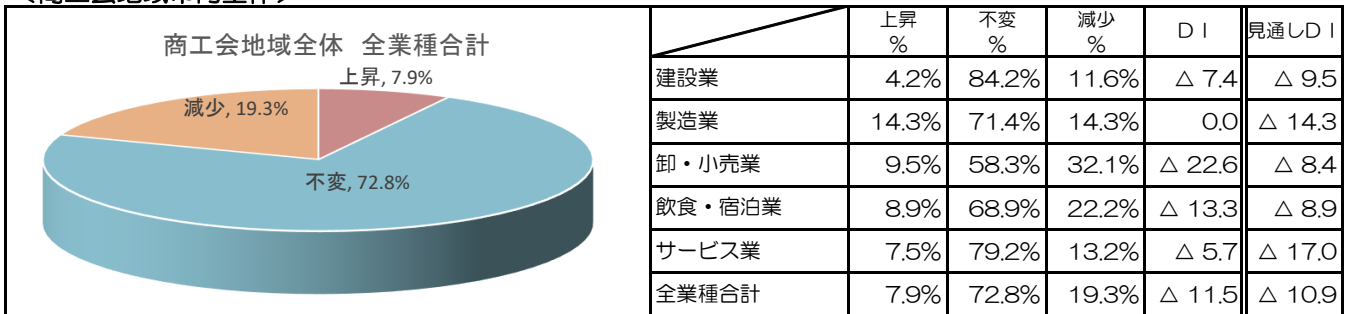


<コメント> 当松代地域の仕入単価であるが、飲食・宿泊業、サービス業以外の業種で減少を示しており、前期比で2.1ポイントの減少となった。特に建設業では減少が目を引く状況である。来期の見通しにおいては全ての業種で低下又は横這いと予測されているが、サービス業だけ上昇傾向と予想されている。

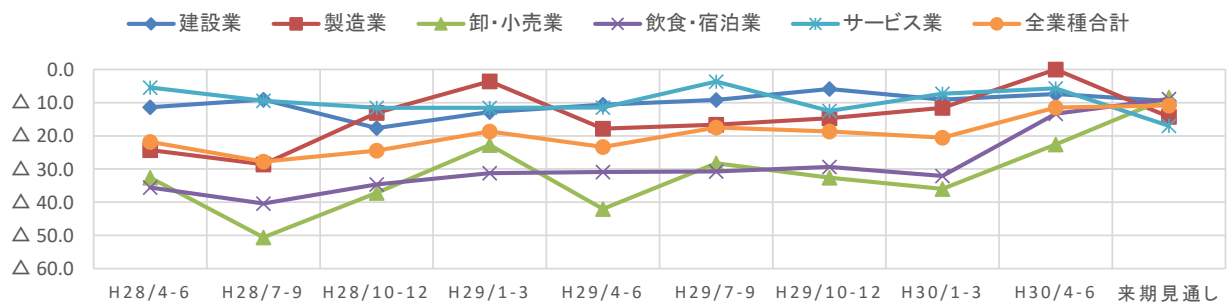
4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

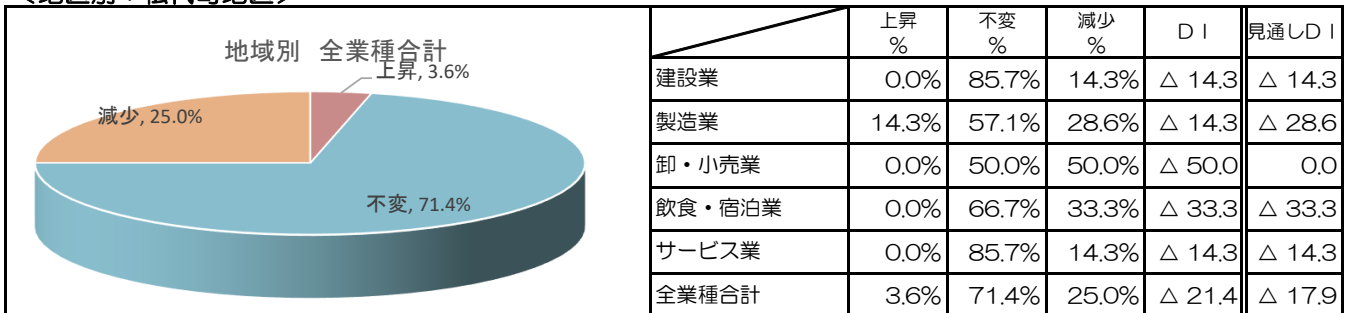


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

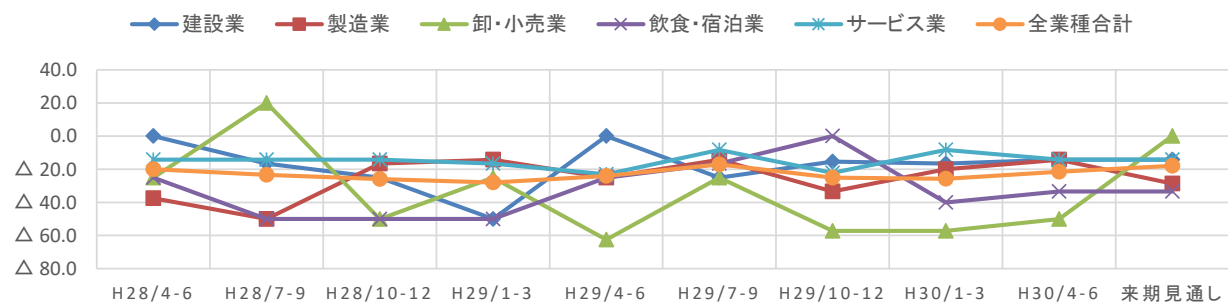


<コメント> 市内全体の販売単価は、推移グラフで分かる通り、全業種でのD I値で前期に比べ9.1ポイント上昇となった。前年同時期（△23.3ポイント）との比較でも11.8ポイントの改善となっている。来期の見通しで製造業が減少を示しているが、全業種では0.6ポイントの改善予測となっている。

<地区別：松代町地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

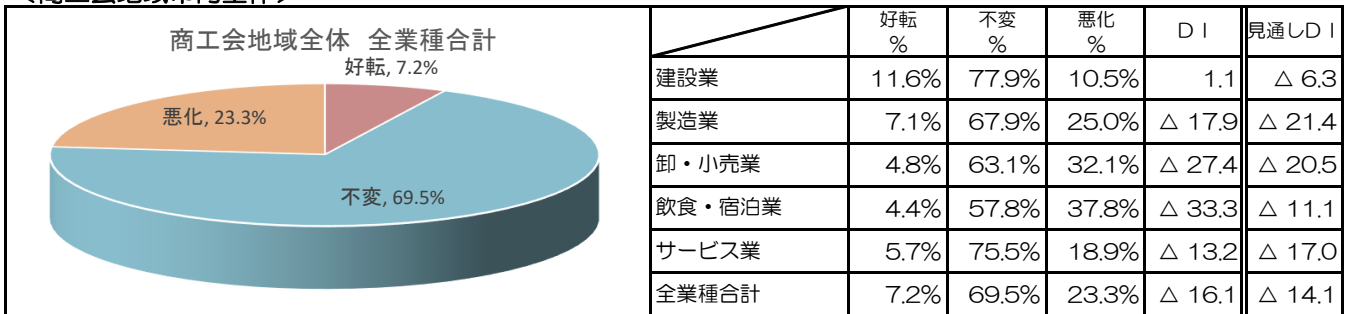


<コメント> 当松代地域の販売単価は、推移グラフで分かる通り、全業種でのD I値で前期に比べ4.3ポイント上昇となった。サービス業以外の全業種で少しずつであるが改善となっている。来期の見通しでは全体的に減少を示しているが、小売業が14.3ポイントの改善予測となっている。

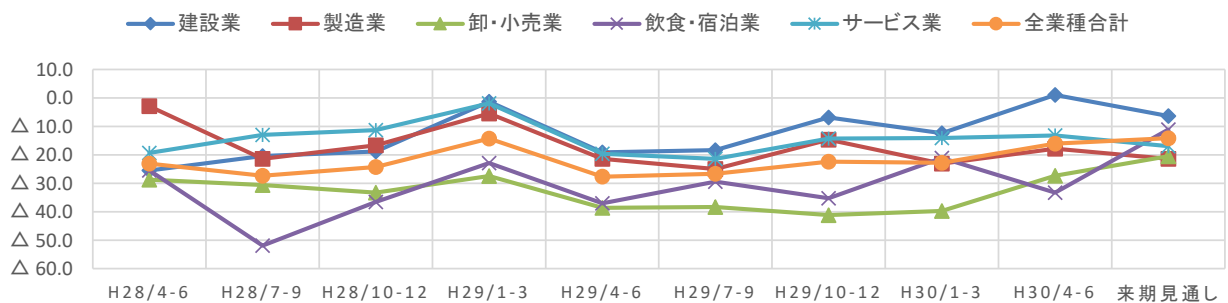
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

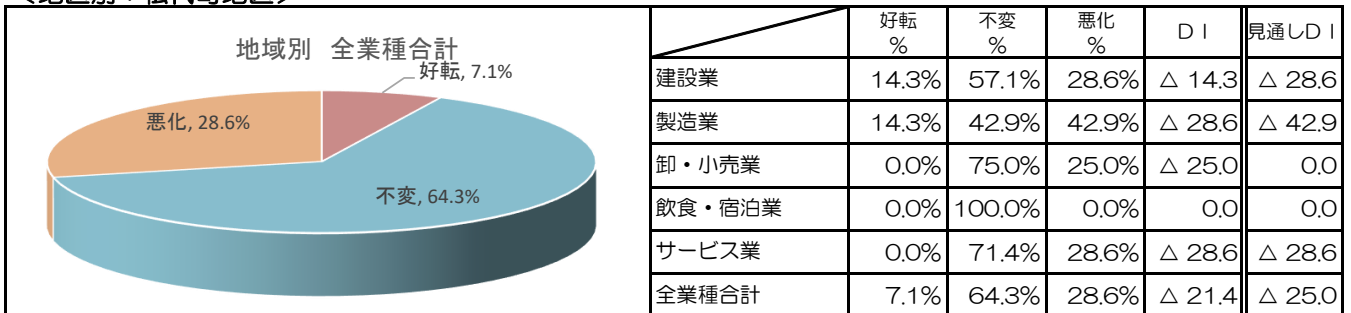


業種別資金繰りの推移(市内全体)

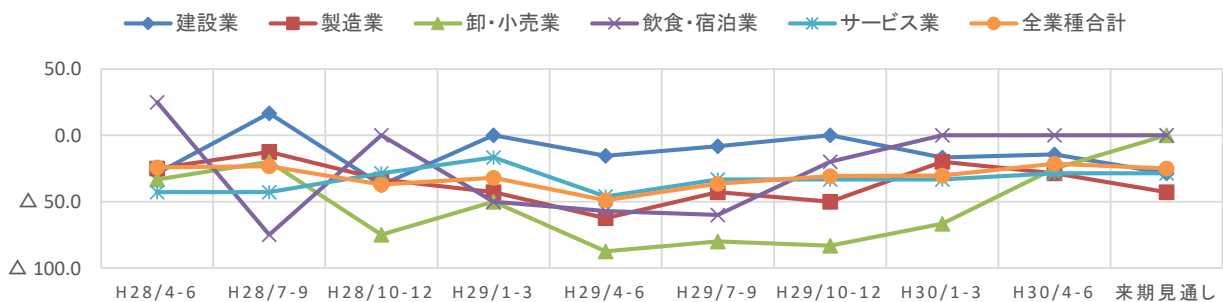


<コメント> 市内全体の資金繰り状況は、全業種D Iで前期比6.7ポイントの改善が見られた。業種別では多少の波があるものの、推移グラフから見ても昨年の第1四半期から少しずつ上昇傾向にあることが読み取れる。来期見通しにおいても2ポイント改善予測されており、この傾向が続くことを望みたい。

<地区別：松代町地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

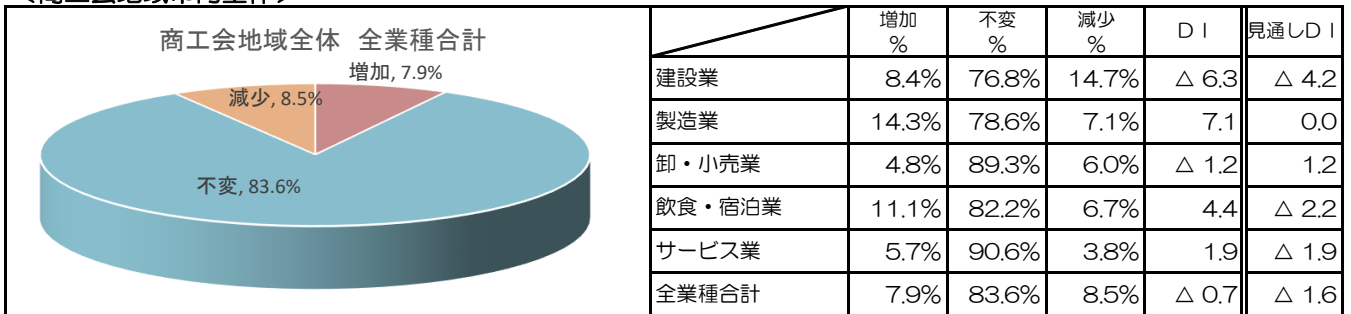


<コメント> 当松代地域の資金繰り状況は、全業種D Iで前期比8.9ポイントの改善が見られた。業種別では多少の波があるものの、推移グラフから見ても昨年の第1四半期から少しずつ上昇傾向にあることが読み取れる。しかし、来期見通しにおいては3.8ポイント減少が予測されている。

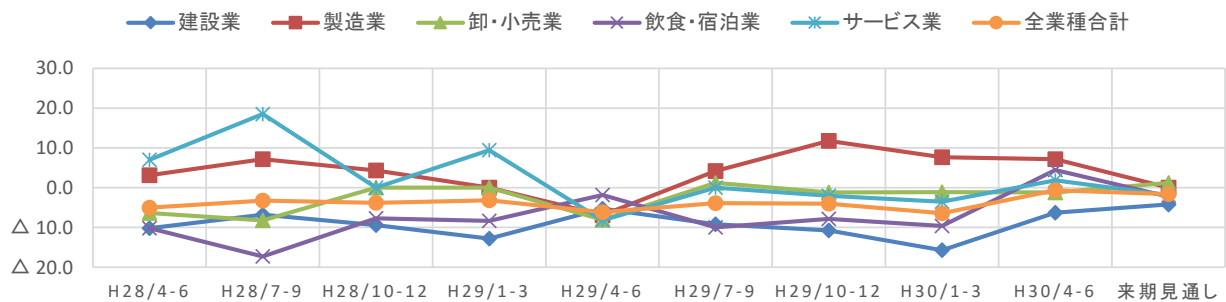
6. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

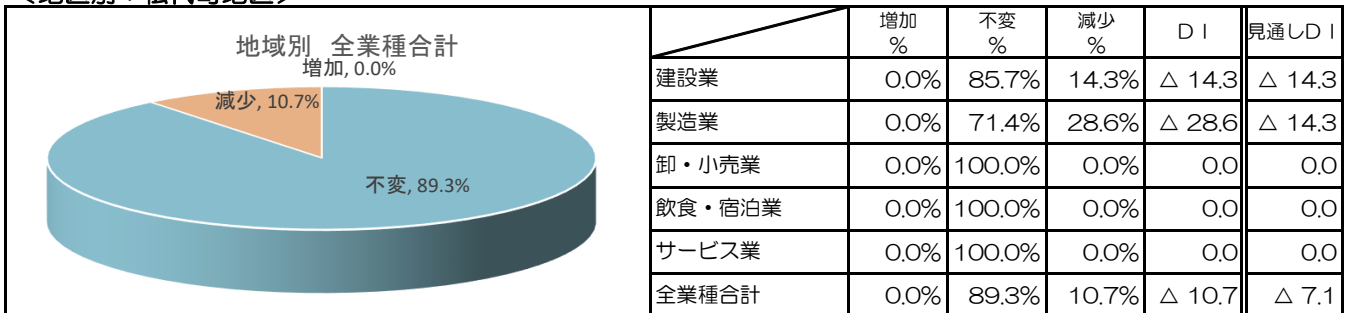


業種別従業員数の推移(市内全体)

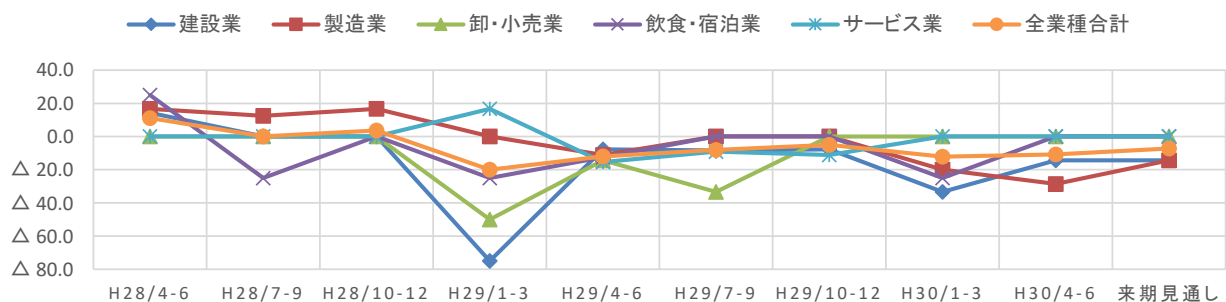


<コメント> 市内全体の従業員数は、全業種合計のD I値で、前期(△6.4ポイント)に対し5.7ポイント増加となった。建設業と飲食・宿泊業での伸び率が高く、建設業は9.4ポイント、飲食・宿泊業は14ポイント増加となっている。来期の見通しで多少の減少予測がなされているが、大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：松代町地区>



業種別従業員数の推移(地区別)

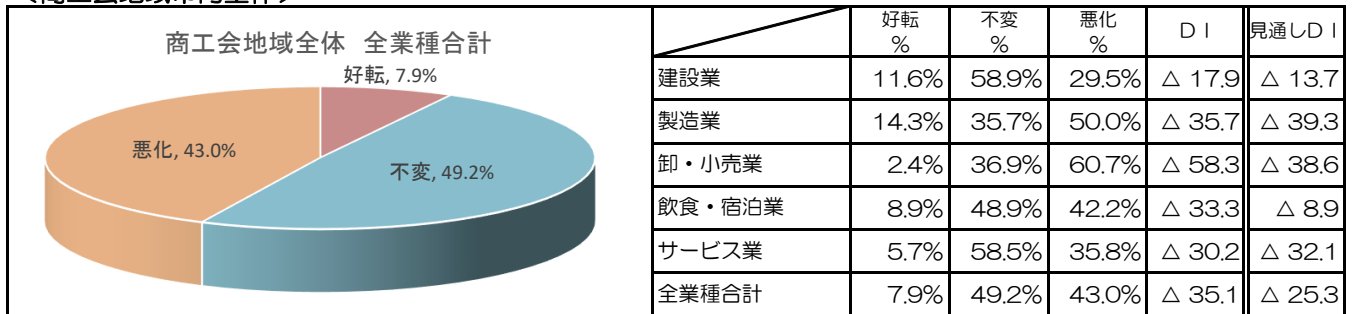


<コメント> 当松代地域の従業員数は、全業種合計のD I値で、前期(△12.1ポイント)に対し1.4ポイント増加となった。建設業と飲食・宿泊業での伸び率が高く、建設業は19.0ポイント、飲食・宿泊業は25.0ポイント増加となっている。来期の見通しも微増継続が予測され、この維持が期待される。

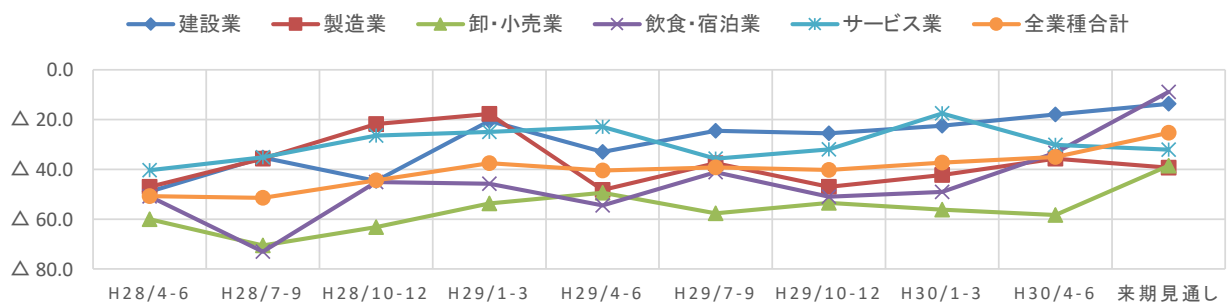
7. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

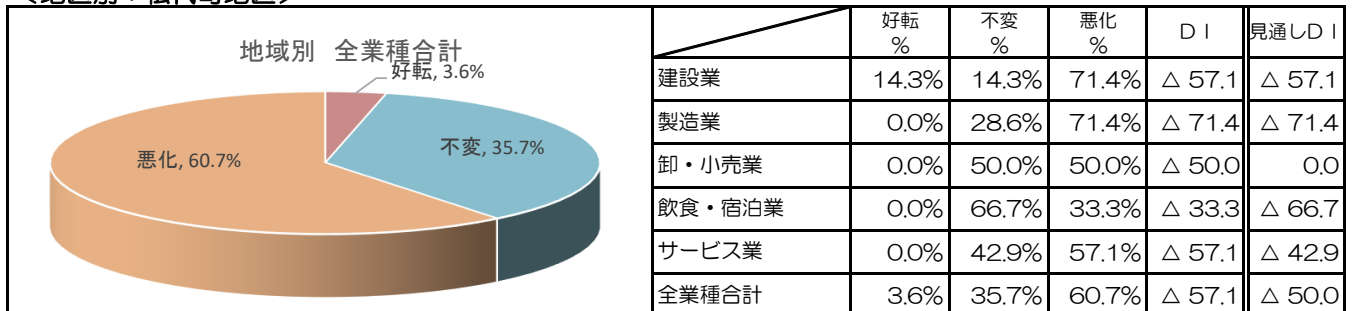


業種別景況判断の推移(市内全体)

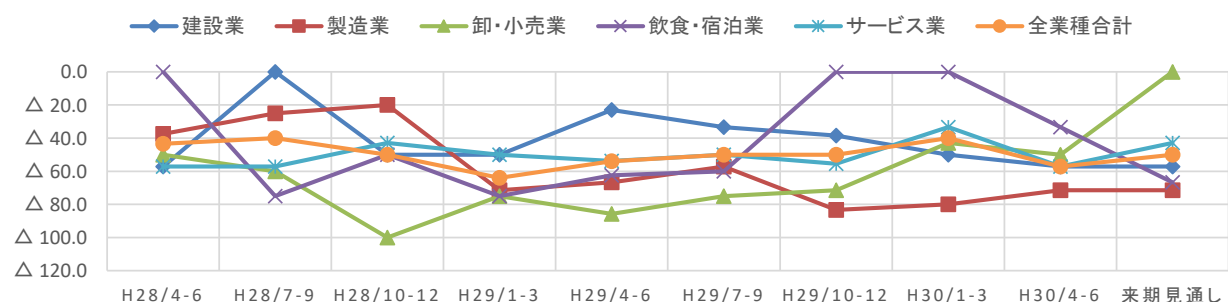


<コメント> 市内全体の景況判断は、全業種合計のD I値より、前期(37.3ポイント)に対し2.2ポイント好転となった。卸・小売業及びサービス業で悪化となっているが、建設業と飲食・宿泊業の伸び率により全体を押し上げた形である。来期見通しでも好転予測されており、今後の動向に注目したい。推移グラフからも全業種の景況判断は微増傾向にあることから、この傾向が維持されることに期待したい。

<地区別：松代町地区>

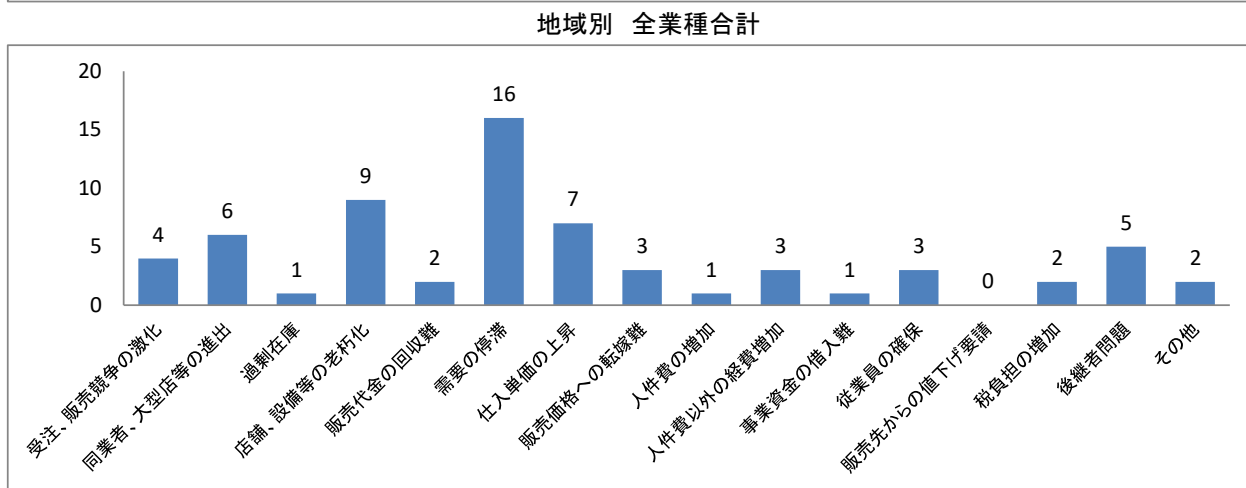
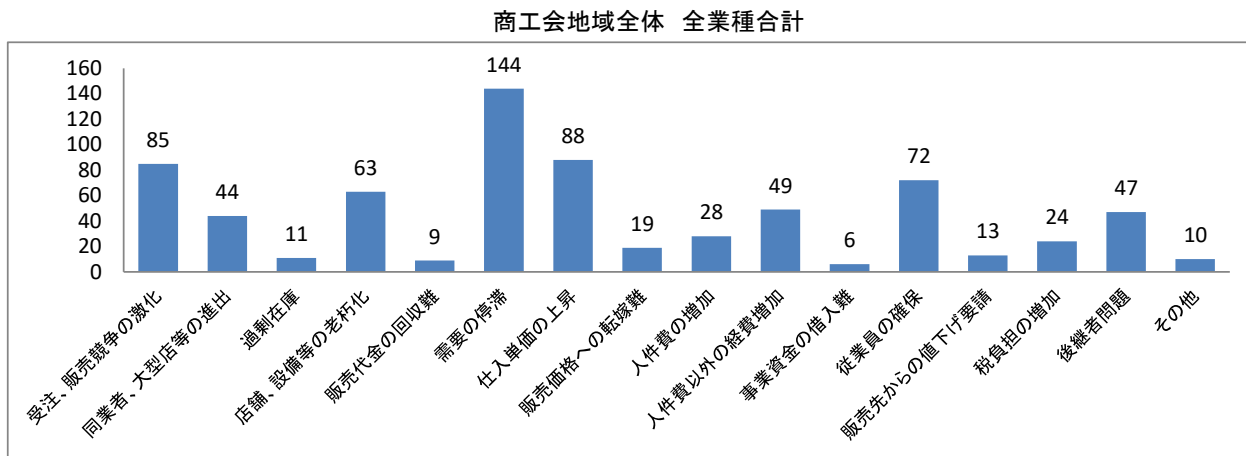


業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント> 当松代地域の景況判断は、全業種合計のD I値より、前期(40.0ポイント)に対し17.1ポイント悪化となった。製造業で好転となっているが、他業種で悪化傾向にあり波及したようである。来期見通しでも悪化予測されており、今後の動向に注目したい。推移グラフからも全業種の景況判断は悪化傾向にあることから、この傾向が改善されることに期待したい。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月



＜コメント＞ 市内全体の経営上の問題点は、前回調査時と上位3位までの内容は変わらず、1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「受注・販売競争の激化」となっている。次いで「従業員の確保」が問題に挙げられており、人材不足が進んでいるものと推測される。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

【建設業】当松代地域の経営上の問題点は、前回調査時と上位3位までの内容は変わらず、1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「後継者問題」と「店舗、設備等の老朽化」が問題に挙げられており、人材不足が進んで今後の事業継承が危惧される。

【製造業】当松代地域の経営上の問題点は、前回調査時と上位2位までの内容は変わらず、1位「仕入単価の上昇」2位「需要の停滞」と「店舗、設備等の老朽化」となっている。次いで「受注・販売競争の激化」と「人件費以外の経費の増加」が問題に挙げられており、販売より仕入に苦勞されているものと推測される。

【卸・小売業】当松代地域の経営上の問題点は、前回調査時と1位と変わらず、1位「需要の停滞」となっている。次いで2位「同業、大型店等の進出」が問題に挙げられており、地域での消費意識不足が進んでいるものと推測される。

【飲食・宿泊業】当松代地域の経営上の問題点は、前回調査時と同様、「店舗、設備等の老朽化」が1位を占め、前回1位の「仕入単価の上昇」は優先順位から1歩後退したであった。他群を抜いた問題点はなくなり一時落ち着いたものと推測される。

【サービス業】当松代地域の経営上の問題点は、前回調査時と同様1位は「需要の停滞」であった。次いで2位に「店舗、設備等の老朽化」と「仕入単価の上昇」となった。他群を抜いた問題点はなくなり一時落ち着いたものと推測される。